

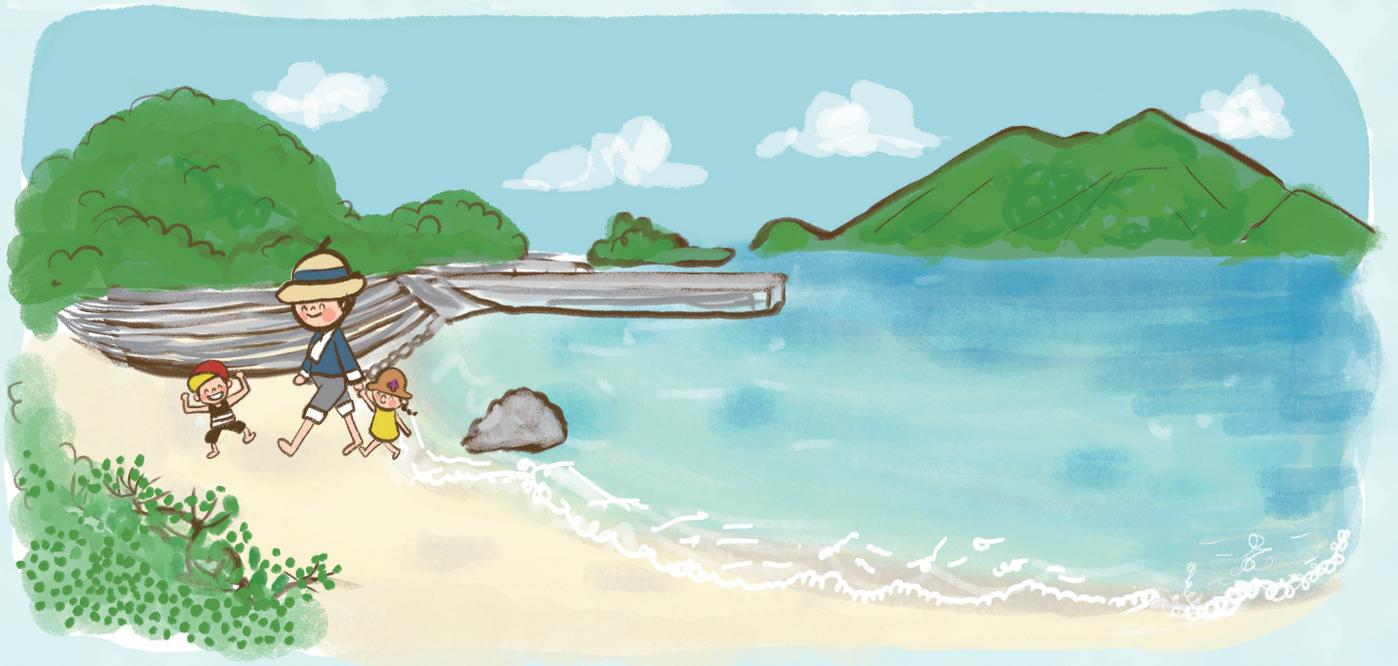
# 第1編 序論

## 第1章 第6次宇検村総合振興計画の策定にあたって

- 1 計画策定の背景と趣旨
- 2 計画の構成
- 3 計画の期間
- 4 計画の策定方針
- 5 策定体制

## 第2章 社会の潮流と宇検村の現状・課題

- 1 近年の社会動向
- 2 宇検村の概況
- 3 宇検村の現状
- 4 第5次計画の評価・検証
- 5 住民等アンケート調査結果
- 6 宇検村の特性と課題



# 第1章

## 第6次総合振興計画の策定にあたって

### 1 計画策定の背景と趣旨

宇検村(以下「本村」という。)では、平成25年3月に「第5次宇検村総合振興計画」(以下、第5次計画)を策定し、「奄美の自然・歴史・文化が彩り焼内湾を包む結いのこころでつながるむら」という基本理念の実現に向けて、各分野において施策・事業を推進してきました。

しかしながら、長引く経済・雇用環境の低迷を背景に、人口減少と少子高齢化の進行に歯止めがかかっておらず、人口減少が更なる経済・雇用環境の低迷を招く“負のスパイラル”から脱していない状況にあります。

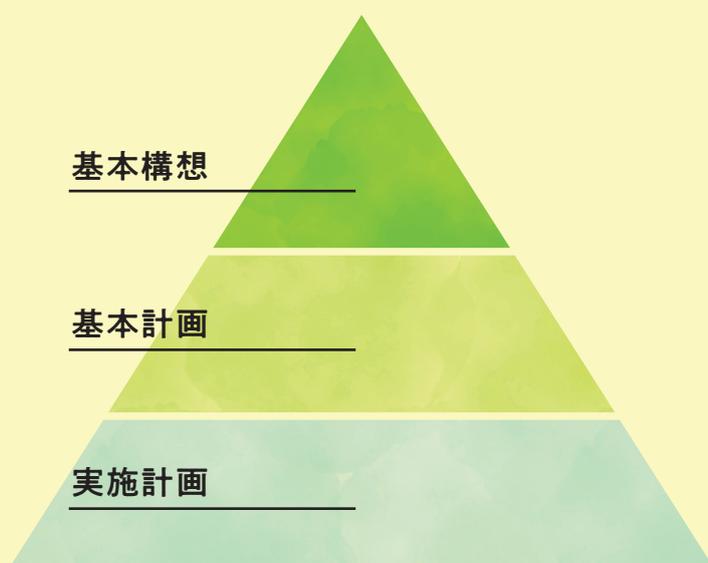
この度第5次計画の計画期間が令和4年度をもって終了することとなります。

第6次総合振興計画においては、全国的な少子高齢化や人口減少のさらなる進行、それに伴う地域経済の縮小、技術革新の進展による「Society5.0」の実現に向けた取り組みの推進や産業構造の変化、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえた取り組みの推進、地球規模の環境問題の深刻化、新型コロナウイルス感染症流行の長期化など新たな時代の流れも含め、数十年先までも見通した持続可能なむらづくりの連続性の視点が重要となります。

そのため、このような社会潮流や各種データからみる本村の現状、住民アンケート調査結果や第5次計画の評価等から本村の課題を整理し、総合的・戦略的な視点に立ち、実効性の高いものとなるよう、令和5年度から令和14年度までの10年間を計画期間とする第6次宇検村総合振興計画を策定するものです。



## 2 計画の構成



この計画は、宇検村の目指す将来像及び施策の大綱等を示した「基本構想」と、構想を実現するための施策を体系化し、総合的・計画的な村政運営の指針となる「基本計画」、財政的な裏づけや社会経済情勢を判断しながら、基本計画に示した施策を具体的な事業として定める「実施計画」で構成します。

### 基本構想

目指すべきむらの姿を明確にするとともに、その実現のために必要なむらづくりの方向性を示す。

#### 「基本構想」に記載されている事項

- ・宇検村の将来像
- ・むらづくりの基本理念
- ・人口の将来展望
- ・むらづくりの基本的方向
- ・分野別の方針

### 基本計画

むらづくりにおける将来像の基本となる考え方に沿った必要な施策の方向と内容を体系的に示す。

#### 「基本計画」に記載されている事項

- ・分野別施策

### 実施計画

定めた施策を実行するため、各年度における予算編成や事業執行の具体的な指針となるものを示す。

\*本書に記載されません。

### 3 計画の期間

基本構想は、計画期間を令和5年度から令和14年度までの10年間とし、基本計画は、基本構想期間の前期に相当する令和5年度から令和9年度と後期に相当する令和10年度から令和14年度のそれぞれ5年間とします。また、実施計画については、3年間のローリング方式で毎年更新することにより実効性の高い計画とします。

年度	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032
基本構想	10年間									
基本計画	前期5年間					後期5年間				
実施計画	3年間毎年更新									



## 4 計画の策定方針

近年、総合振興計画には総合調整機能の発揮がより一層求められるようになりました。

そのため、これからの総合振興計画については、策定過程から多くの人々が参画し、住民や民間の連携のもと、むらの進むべき方向を共有できる「むらづくりの共通」としての機能を有した計画を策定します。

### ① 村民にわかりやすい計画づくり

基本方針・基本施策等を体系的に整理し、簡潔で要点を抑えた表現とシンプルなデザインとすることにより、村民にわかりやすい計画とします。またSDGsの考え方を踏まえた村の施策の推進についてわかりやすく表現します。

### ② 地域の特性を活かした時代にあった計画づくり

宇検村の地域特性とポテンシャルを最大限に活かす計画とし、村の魅力を高めるとともに、村民が将来の宇検村について語り合えるような計画とします。

また、日本社会が抱える少子高齢化、地方の過疎化等の課題への対策として、IoTやAI等の新技術の導入によるSociety5.0の実現が進められる一方、近年、自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行等により、これまでの社会生活のあり方に変化が求められている状況に対応した計画とします。

### ③ 行政経営の視点にたち、効果的な行政評価ができる計画づくり

行政運営に関し、経営的な視点で選択と集中を図り、効果的で効率的な施策展開が図れるよう、客観的かつ合理的指標に基づく効果検証が可能な計画とします。

### ④ 村民との協働による計画づくり

これまでの社会の枠組みでは対応しきれなかった課題への対応のため、地域社会の担い手が活力を維持し活躍できるよう、村民と行政がともに考え、宇検村の未来を共に育んでいける計画とします。

### ⑤ むらづくりの課題を克服するとともに村民ニーズに対応した計画づくり

宇検村がこの10年間で克服すべき課題を整理し、村民ニーズと併せて、戦略的に取り組んでいく計画とします。

また、『関係人口を創出するにあたって、新たに宇検村に呼び込むことよりも、かつて宇検村に住んでいた人たちや、その二世、三世にあたる人たちとの関係を築き上げ、人口増加へつなげられるような取り組みを進めていく』とされた「第二次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月策定)」と整合性のある計画とします。

# 5 策定体制

第6次総合振興計画は、令和3年度に実施した住民アンケート調査、統計資料等で現状を把握するとともに、振興計画審議会で協議するなど住民参画によって策定しました。

